



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第37回例会(4月11日)
平成26年4月18日発行

クラブ事務所	岩手県盛岡市菜園1丁目10 川徳デパート内	会 長	平井 滋
例 会 場	同上 TEL(651)1111(代) FAX(653)5622	幹 事	平野 佳則
例 会 日	毎週金曜日12時30分～	会 報	金子 眞也
		クラブ直通電話	TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. 'ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を'…… Ron D. Burton



ゲスト卓話

「インテリアコーディネーターという 仕事の醍醐味」

(株)フリーダムデザイン 専務取締役
小池 祥子 様

●スピーカー紹介●

(株)フリーダムデザイン専務取締役(インテリアコーディネーター、インテリアデザイナー)。盛岡市出身。武蔵野美術大学短期大学部生活デザイン科卒業。旧松下電工(株)東京本社勤務後、ゼロファーストデザイン(株)、リフォーム会社を経て夫と帰郷。1998年「小池インテリアコーディネートオフィス」設立。2011年「(株)フリーダムデザイン」へ法人化 夫と会社設立。2012年から岩手インテリアコーディネータークラブ会長。主に、個人邸のインテリアコーディネートを中心に、クリニックや店舗など数多く手がける。(阿部 広会員)

●ご挨拶

私は、フリーランス(個人事業主)のインテリアコーディネーターとして、15年ほど、個人事務所を構えて参りました。3年前に法人化し、現在は夫と二人の従業員と(株)フリーダムデザインという小さな会社を営んでおります。私の父は県庁に、祖父母は教員と、公務員一家に育ちましたので、商売とは無縁の環境でした。今、こうして、会社を営んでいるということは驚きではありますが、実は、学生のころから漠然と描いていたものであったことかもしれません。これまで、インテリアコーディネートのコツのようなセミナーは、度々機会がございますが、今回は、私がこの道に進むことになりました経緯から、現在までをお話しさせて頂きたいと思えます。

●インテリアコーディネーター

インテリアコーディネーターとは、お住まいを新築する際や、リフォームをする際などに、お客様の立場に立ち、快適な空間を作るために、照明計画、床壁天井材などの仕上げ材の選定、家具のご提案などを行い、トータルで調和のとれた心地の良い空間をご提案する仕事です。インテリアデザイナーはトレンドなどを加味し、オリジナルのデザイン空間を作り出すのに対し、インテリアコーディネーターは、生活・暮

らしを考え、住まわれるお客様に寄り添う立場です。資格試験があるのも特徴です。お客様がお持ちのイメージやお好みを十分なコミュニケーションで具現化していく仕事だと考えております。ただ、私は、元来、無いものを作り出すとか、デザインしてることが好きでしたので、型通りのインテリアコーディネーターではなく、枠にはまらないオリジナリティのある柔軟なインテリアコーディネーターでありたいと思っております。どのお客様のインテリアテイストにも、その世界観に共感し、好きになってのめり込んで関われる柔軟性が、私の持ち味だと思っております。

●インテリアコーディネーターになった経緯

中学時代；幼少時代より絵を描くのが好きでした。中学時代、美術部の先生にとっても可愛がっていただき、ある時、「君は美術大学を目指してはどうか」という一言を頂きました。当時、ハンドボール部に所属し、真っ黒に日焼けする体育会系少女でした。しかし、今でもあの時の先生の一言が鮮明に思い出されますし、この一言が今の私の原点です。

高校時代；「美大」を意識しつつも、再びハンドボール部でハードな毎日を送っておりました。美術部でもない私が、美大を目指すなんて無謀だと先生方からは反対されました。前例が

ないと言われると逆に、やってやろう！と思うのです。同時期に、美大受験のためのアトリエが盛岡に出来たと友人が教えてくれました。親を説得し、部活終了後に遅くまでアトリエへ通い、デッサンなどを学びました。学校も、そこまで本気ならばと、授業中一人、美術室でデッサンをさせて頂いたこともありました。その後、短期大学部の方ではありましたが、現役合格できたことは、のちに美大を目指す後輩たちに大きな励みになったと聞き、非常に嬉しく思ったものです。

美大時代；折角現役で入学したものの、実は、部活で痛めた膝で、高校時代2度の手術。そして大学入学早々に、3度目、4度目の手術をすることになり、数か月入院。結果、大学の勧めで留年いたしました。しかし、結果、この時に出会った友人たちが実に刺激的で、今でもお互いに刺激しあえる良い仲間となるのです。

松下グループ；美大ではインテリアデザインを専攻。卒業後は、旧松下電工(株)の東京本社へ入社いたしました。横浜ショールームの立ち上げに関わり、建材や住宅設備のご提案を多くのお客様に行いました。自分が人と接すること、接客が好きだということもこの時に感じました。松下幸之助さんの祭壇の前で手を合わせ、会社への貢献を誓った2年後、私は、転職いたします。デザインの仕事・スキルを身に着けたかったのです。

インテリアデザイン事務所；海外にもスタッフのいるような、先端に行くデザイン事務所でした。いろいろなデザイン部署がある中、私はインテリアコーディネートの部署に所属。下っ端といえども本当に数々の刺激的な仕事に関わらせて頂きました。アッパー層の方々のお暮らしや指向なども、直に感じて仕事できたことは、今でも大きな財産です。プレゼン一つとっても、妥協は許されず、完璧な完成度とクオリティの追及は、先輩方からとことん学ばせていただきました。この時に受けた刺激、学びは、まさに今の私の仕事のベースです。

結婚・独立；結婚を機に退社し、主人の配属先だった長野でリフォームの仕事につきます。松下グループで大企業ならではの素晴らしい学びを受け、デザイン事務所で洗練されたデザイン・オリジナリティ・プロ意識を学び、リ

フォーム会社で現場の難しさ・施工を学んできたことは、将来、独立してみたいと考えていた私には、一つ一つが重要なスキルアップだったのです。その後、夫と盛岡で暮らすことになり、私は迷わず、独立に向けて動き出しました。都内には、フリーのインテリアコーディネーターの方は沢山いらっしゃいました。盛岡には、設計事務所を営む方がインテリアコーディネーターの資格をお持ちでいらっしゃいましたが、インテリアコーディネーターの事務所を開設している方はいらっしゃいませんでした。インテリアコーディネートに特化することで、きっと必要とくださる方がいらっしゃるのではないかと、強く思ったのです。まずは、盛岡の業界の状況を知ろうと、照明メーカーのプランナーの仕事を在宅で行うことからスタートし、徐々に、専門学校のインテリアデザインの非常勤講師や、住宅会社のモデルハウスのコーディネート依頼などを頂くようになり、屋号をつけて独立。迷いはなく、この先の自分の仕事を考えると楽しみで仕方がありませんでした。屋号は、誰にでも分かっていただけのように「小池インテリアコーディネートオフィス」と致しました。29歳のころです。

個人事務所時代・子育て；独立したもう一つの理由は、子供を授かったことです。子育てを理由に仕事ができないとは言いたくありませんでした。インテリアコーディネーターという仕事は、生活経験があればあるほどに、実体験としての提案が出来ると感じています。

子育ても仕事もどちらも私にとっては、必要なことで、両立して楽しんでいきたいと思ったのです。スタートは、自宅の一室を仕事場とし、自宅事務所からの出発でした。

市内に住む両親の支えがなかったら、今の私たちはなかったと思います。特に、長男が幼かった頃は、両親に預けて仕事をしていましたので、本当に感謝しています。自宅事務所だからと言って、傍らに子供を遊ばせて仕事するような形態は、実際は難しかったのです。電話が鳴れば、遊んでいた子供がわざと「ママ、ママ」と話しかけてきます。遊んでほしいママが直ぐそばにいるのに、お仕事に真剣。遊んでくれるわけではありません。喘息がひどく、入院するこ

とが多く、夜中に抱えて救急に何度行ったことか。入院先の付き添いをしながら凶面を広げたり、病棟から打ち合わせへ行き来したことも数え切れません。仕事は有難いことに順調でしたが、子供との貴重な時間を考えると、寂しい思いをさせてまで仕事することが私の目指すことなのか…と、何度も悩みました。涙して悩む私に、母がある日言いました。「あなたは、好きな仕事をしたいと思っているのでしょうか。子供に後ろめたいと思っているのなら、仕事はしない方がいい。泣きながら仕事するくらいならやめなさい。あなたが本当にやりたい仕事のなら、しっかりとやり遂げなさい。孫の世話は私たちがやってあげるから、仕事の時は、めそめそせずに、集中してやりなさい。」と。ハッとしました。確かに、私は「ごめんね。ごめんね。」とメソメソしながら子供の寝顔に話しかけていました。

その通りだと思いました。中途半端が一番いけない。頑張るお母さんの背中を見せていくのも子育てではないかと気が付かされたのです。

その後、次男・長女と、3人の子供に恵まれ、仕事も、出産前後の計5か月くらいしか休まず、復帰してきました。私は、本当に周りの多くの人に恵まれ、お仕事にも恵まれ、頂くお仕事をとにかく、手を抜かず一生懸命こなして参りました。子育ても2人目、3人目となると私自身たくましくなり、合わせて子供たちもたくましくなりました。私の仕事は、週末、皆様がお休みの時にお打ち合わせのアポイントが入ることがほとんどです。かといって平日は、現場確認や、打ち合わせ準備などであつという間に過ぎます。結果、休みらしい休みは意識して確保しないと無縁になってしまいます。ぼーっとする休日こそ取れなくても、子供たちの活躍が見れる行事ごとや、スポーツ観戦などは、必ず手帳に書き入れ、可能な限り優先して、子供の成長を共感できるように心がけてきました。また、学校の役員などは、率先してお受けし、学校と子供に関わってきました。仕事は自分にしかできないということはないのだともいます。もっと、有力な方が代わりを務められるでしょう。しかし、母親の代わりはいません。お父さんでもおばあちゃんでもお母さんの代わりにはならないのです。一昨年、次男の小学校の卒業式で

謝辞を読ませて頂きました。忙しい毎日ではありましたが、6年間、一生懸命に子供と過ごしてきたことは本当に素晴らしい時間だったと思いました。その気持ちを言葉に出来たことは有難かったです。

「今、“この時”の子供にはもう、会えない。常に成長しているから。自分も頑張って生きているけれど、子供も日々、頑張って生きている。できる限り、子供の成長を感じていきたい。」というのが、私の思いです。気持ちが伝わったのかはわかりませんが、3人とも素直にすくすくと育ってくれました。今は、高3、中2、小6と大きくなり、それぞれが親のような仕事を指す（今のところは）言ってくれる親孝行な子供たちです。

会社設立；今から3年前、同業で、住宅営業・設計をしてきた夫と、会社を設立致しました。一緒に家づくりをしていこうというのは、実は、結婚前から話していました。お互いの持ち味と、それぞれのスキルを合わせて一緒に家づくりがしたいと思っていました。

しかし、もちろん具体的ではありませんでした。いよいよ、現実的になった時、私の個人事務所は一旦、廃業届を出し、法人化することになりました。これには、非常に抵抗があり、今まで培ったものが、急に無になるような気がして、相当悩みました。更に、お互いにこれまでの自分の仕事の流儀がありましたので、一緒にスタートしてから、いちいちが揉め事でした。譲ること、相手の意見を認めることがお互いに出来なかったのです。この時期は、家でも仕事の話で揉めることも多く、子供たちはさぞ、心配したことでしょう。良い家を作りたいという思いと思いがぶつかる揉め事がほとんどでしたので、一つ一つが大切な試練だったのだと思います。親としてもまだまだ未熟な二人が、一緒に会社を興したのですから、全てが勉強・試練でした。

昨年の5月に、南大通りに念願のモデルハウスを建設致しました。知名度が無いからこそ、自分たちの仕事を見ていただく場が必要だと考えたのです。場所にも恵まれましたし、関わってくださる施工のチームの皆様、関係業者の皆様にも支えて頂き、思いの詰まった建物をこうして見ていただくことが出来たことは、感無量

です。この春更にスタッフも増え、現在4名体制で心を込めて日々お客様のお住まいと向き合っております。

思うこと；コミュニケーションの大切さを感じております。社員間でもそうですし、お客様とのコミュニケーションは家作りでは最も重要なポイントだと思っています。お客様との出会いから始まり、一生のお付き合いになると思います。10人のお客様には10通りのお暮しがあります。お住まいになれる皆様がそれぞれフィットする、オリジナルなお住まいであるべ

きです。楽しい打ち合わせを経て、工事が終了、インテリアも完成しお引き渡しする時には、毎回、感動で泣きそうになります。お客さまから有難いお言葉を頂き、喜ばれる姿を拝見するたびに、自分たちの仕事の醍醐味を感じます。何より、人とのつながり、ご縁を感じております。感謝の気持ちでいっぱいです。

空間のデザインとは、快適さだと思います。心地がいい、ずっとここにいたい。帰りたくなる家、人を呼びたくなる家。そんな空間をこれからもご提供して参りたいと思います。

例会報告

第37回例会
平成26年4月11日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
 - ・ソング 我らの生業
 - ・四つのテスト斉唱
 - ・会長報告 平井 滋会長
 - ・ゲスト 小池祥子様 (株)フリーダムデザイン 専務取締役。
 - ・皆出席バッチ 駒木 進君(19年)。
 - ・入会祝 駒木 進君。
 - ・誕生祝 西田直貴・藤田治彦君。
 - ・幹事報告 平野佳則幹事
 - 終了後臨時理事会

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.= 4月23日(水)は、観桜会開催のため18:30~「鈴徳」。4月30日(水)は、特別休会。
- 盛岡西R.C.= 4月17日(木)は、地区大会参加のため20日(日)地区大会会場。
- 盛岡南R.C.= 4月22日(火)は、観桜会開催のため18:30~「鈴徳」。
- 盛岡東R.C.= 4月21日(月)は、通常夜例会18:30~「さんさ踊り」会場変更。
- 盛岡西北R.C.= 4月23日(水)は、地区大会参加のため20日(日)地区大会会場。4月30日(水)は、お花見例会のため18:30~「駒龍」。
- 盛岡滝ノ沢R.C.= 4月17日(木)は、地区大会参加のため20日(日)

地区大会会場。

【ニコニコBOX】

◆金子真也君…私事、手前みそですが長男が盛岡駅から近い男子校に入学し新年度スタートしました。多くの大先輩の皆様と同窓になりますが宜しくお願いします。石を割る桜のごとく頑張ります。

●メークアップ
盛岡西R.C.= 吉原君。盛岡東R.C.= 佐藤(仁)・星・菊池・竹中君。クラブ委員会=長野・佐藤(重)・白石・飯塚・勝部君。

出席報告 会員数 /68名 出席数 /44名 出席率 /69.84% 前々回修正出席率 /80.6%

- ・4月18日(金) ゲスト卓話 田中俊恵様 (岩手県警本部 本部長)
「警察本部長よもやま話」
- 24日(木) 観桜会 (25日例会変更)
- ・5月 2日(金) 特別休会
- 9日(金) ゲスト卓話 畠山節子様 (NPO 法人 ボランの広場 盛岡地区父母会 会長)
「ボランの広場活動報告」
- 16日(金) ゲスト卓話 平藤由美子様 (ジョブカフェいわて 所長)
- 23日(金) ゲスト卓話 井上和則様 (盛岡少年鑑別所 所長)
「盛岡少年鑑別所報告」
- 30日(金) 新入会員卓話 竹中陽一会員

- 本号編集担当 / 加藤 正幸
- 次号編集担当 / 中山 哲克

プログラムの
お知らせ